オンライン研修

令和２年度地域研修　カリキュラム

１．冒頭挨拶　　内閣府政策統括官（防災担当）

２．講義内容

	単元	単元の概要	担当	学　習　目　標	時間
1	防災行政概要	防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学ぶ。	地方・訓練	・防災活動の全体像と考え方、段階ごとの活動の概要を説明できる。	40 分
2	災害法体系	防災活動の前提となる法律を学ぶ。	総括	・防災活動に関連する法令の概要を説明できる。	40 分
3	防災計画	防災計画の基本的な知識を学ぶ。	防災計画	・防災計画（BCP と受援体制を含む）の概要を説明できる。	33 分
4	地区防災計画	地区防災計画の位置づけや策定プロセスを学ぶ	普及啓発・連携	・地区防災計画の策定の意義や策定の方法を説明できる。	17 分
5	警報避難の枠組み	避難勧告判断、住民伝達、避難行動などについて、「避難勧告等に関するガイドライン」を中心に学ぶ。	調査・企画	・警報等の伝達及び避難勧告等の判断・伝達の流れを説明できる。	38 分
6	災害応急対策	災害発生時の初動対応や心得について学ぶ。	事態対処災害緊急	・発災時に留意すべき事項を理解できる	30 分
7	物資調達	発災前及び発災後の物資調達について学ぶ。	事業継続	・物資調達・輸送調整等支援システムを操作することができる。	20 分
8	ISUT（災害時情報集約支援チーム）	GIS による統合された情報提供の必要性とISUTの有効性について学ぶ。	防災計画	・大規模災害時に災害情報を集約・地図化することができる。	19 分

9	災害ボランティア	行政と災害ボランティアの連携について学ぶ	普及啓発・連携	・災害ボランティアの役割を理解し、連携・協働する体制を構築することができる。	19 分
10	被災者支援の枠組み(A) (災害救助法と仮設住宅)	災害救助法の概要や応急仮設住宅(建設型、賃貸型等)の提供業務の仕組みと概要について学ぶ。	被災者生活再建支援	・災害救助法の概要を説明できる。 ・応急仮設住宅(建設型、賃貸型等)の仕組みと業務の概要を説明できる。	42 分
11	被災者支援の枠組み(B) (避難生活支援)	災害救助法に基づく避難所の開設・運営業務及び多様な被災者への対応について、ガイドラインや事例を交えて学ぶ。	避難生活	・避難所の開設・運営と多様な被災者への対応を説明できる。 ・感染症対策に留意した避難所運営を担うことが出来る。	37 分
12	被災者支援の枠組み(C) (生活再建支援①)	住家の被害認定調査や罹災証明書交付業務の概要について学ぶ。	被災者生活再建支援	・住家被害の調査や罹災証明書の交付業務の仕組みと業務の概要を説明できる。	19 分
13	被災者支援の枠組み(D) (生活再建支援②)	被災者生活再建支援法の概要について学ぶ。	被災者生活再建支援	・被災者生活再建支援法の概要を説明できる。	16 分
14	復旧・復興対策	激甚災害制度や大規模災害復興法の概要について学ぶ。	復旧・復興	・復旧・復興に係る法制度の概要を説明できる。	27 分
追加単元	近年の東北地方における水害	令和元年度東日本台風(台風 19 号)と 2020 年 7 月の山形での前線性豪雨災害を事例として、風水害およびそれに必要な対応を学ぶ。	東北大学	・風水害の概要及び必要な対応について説明できる。特に、台風性豪雨と前線性豪雨による災害の特徴の違いを説明できる。	40 分

３．特別編　　**新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営のポイントについて**
※内閣府 HP：http://www.bousai.go.jp/coronam.html

（動画その１）https://www.youtube.com/watch?v=TVYUgKfOHUE
（動画その２）https://www.youtube.com/watch?v=FIdEmu8Cq5I
（動画その３）https://www.youtube.com/watch?v=KKcd73NBm-c